

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

誰ひとり取り残さない
金融サービスを、
これからずっと。

はたらくあなたの、
いちばんそばに。

ろうきん

“ろうきん運動”と“SDGs”

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

組合員のためのろうきん運動の推進が“実は”SDGsの達成につながっています！

ろうきんは、組合員やはたらく人の「可処分所得向上」や「お金に関する知識の向上」をめざし、労働組合と一緒にセミナーや学習会の開催などに取り組んでいます。また、ろうきんでお預かりしたお金は、組合員のニーズに応じた融資やESG投資などに活かされています。労働組合をはじめとする会員のみなさんの組合員とその家族の暮らしを守るために行う“ろうきん運動”の推進が“実は”SDGsの達成につながっているのです。

ろうきんの取り組み

(ろうきん運動の推進)

組合員(勤労者)の
生活向上

金融アクセスの改善

社会的課題の解決

SDGsの達成！

詳しく知りたい方はこちらから

https://all.rokin.or.jp/about/rokin_sdgs/



誰ひとり取り残さない
金融サービスを、
これからずっと。



平和幸せ道ひらく

れんごう福井



No.325 2024. 5.31発行

発 日本労働組合総連合会
行 福 井 県 連 合 会

発行人 橋 岡 克 典
〒918 福井市問屋町1丁目35
-8231 TEL(0776)27-5556
FAX(0776)27-2472
定価 年間480円(会員の購読料は会費の中に含む)

ホームページURL

<http://rengo-fukui.main.jp/>



フェイスブックURL

<https://ja-jp.facebook.com/rengo.fukui>



第95回福井県中央メーデーを開催！

スローガン

**連帯の力で平和と人権を守り 誰もが安心して暮らせる 新たなステージへ！
被災地の復旧・復興に向けて みんなで支え合い・助け合おう！**



2024年4月27日、フェニックスプラザ福井をメイン会場に丹南・嶺南会場をオンラインでつないで福井県中央メーデー式典を開催しました。労働者の祭典であるメーデーは今年で95回目を迎え、各構成組織から3会場合わせて約1,200名が集いました。

冒頭、矢野実行委員長の挨拶では、「2024春闘では社会全体での賃上げの機運が高まり、満額回答が相次ぐなど33年ぶりの高水準となった。福井県においても、新幹線開業やコロナ禍からの脱却、業績の回復も相まって要求や回答が昨年を上回っている。同時に、今も県内では交渉している組合があり、未組織職場で働く労働者や人事院勧告も含め、賃上げの流れを波及させていく事が私たち地方連合会の使命となる。」と話しました。

さらに、政治の問題についても言及し、「国民不在の政治を繰り返さないためにも、二大政党体制による対極政治を作っていく必要があり、政権交代でしかこの国に解毒作用は起きない。」と訴えました。

続いて、杉本知事をはじめ5名の方からご祝辞をいただき、三田村代表（立憲民主党福井県連）は丹南会場から挨拶いただきました。また多くの祝電もいただき、誠にありがとうございました。

最後は、前田実行委員（電力総連）からのメーデー宣言（案）を全員で採択し、矢野実行委員長の力強いガンバロー三唱で式典を締めくくりました。



矢野実行委員長から主催者挨拶

メーデー宣言(案)を上程する
前田実行委員

〈来賓挨拶〉



福井県 杉本知事

福井市 西行市長

立憲民主党福井県総支部連合会
三田村代表

国民民主党福井県総支部連合会
川畑幹事長

福井県労働者福祉協議会
小林事務局長

カーライフを応援する、頼れる補償

マイカー共済

自動車総合補償共済

マイカー共済で、より快適なカーライフをお過ごしください。

補償内容 おすすめ安心タイプ

基本補償

ご自身や同乗者の補償

人身傷害補償
最高5,000万円

大きな事故の場合でも、
相手方への賠償が無制限なら安心！

対人賠償 対物賠償
無制限

車両損害補償

愛車のさまざまな
損害を補償

一般補償

代車費用等を補償

付随諸費用補償

特約

無過失事故の
トラブルを弁護士に
相談できます。

弁護士費用等
補償特約

事故対応

●休日・夜間を問わず、24時間365日事故受付
●示談交渉サービス付き(対人・対物賠償事故に限りです)

サポート体制

●マイカー共済ロードサービス

自走不能な場合のレッカー車
または積載車による搬送

燃料切れの時のガソリンまたは
軽油お助けサービス

●車検・修理・点検は全国ネットのこくみん共済 coop 指定整備工場で!!

30分以内の路上クイックサービス

脱輪・落輪等
引き上げサービス

●ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。ご契約の際は「リーフレット」「ご契約のてびき(契約概要・注意喚起情報)」を必ずご覧ください。

自賠償共済とあわせてのご加入をおすすめします。

「もしも」に備え「もしも」を防ぎ
「もしも」に向き合う。



公式キャラクター
ピットくん

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済〈全労済〉

全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

〈デモ行進〉

中央メーデーの式典終了後には、福井会場の参加者でフェニックスプラザ周辺をデモ行進しました。手には各産別・単組ののぼり旗やプラカードを掲げて、「安心社会」や「持続的な賃上げによる経済の好循環」、「不合理な格差の解消」など力強いシュプレヒコールを行い県民にアピールしました。



第1隊列は、(左から)大嶋副会長、矢野会長、山田副会長

第2隊列は、(左から)鷺田議長、橋岡事務局長、林副会長

「がんばろう!北陸」のパンフレットを掲げて行進中

心配された天気も暑すぎず、行進日和でした

各地区メーデーフェスティバル

今年の各地区メーデーフェスティバルは、福井県中央メーデーの式典終了後に同会場で開催しました。それぞれ地域性を活かして工夫を凝らし、多くの方に参加していただき大いに盛り上がりました。

福井地区 福井市「フェニックスプラザ」屋外イベント広場

縁日コーナー、ガラポン抽選会、飲食ブース、など



丹南地区 越前市「生涯学習センター」eホール + 越前市役所前広場

ステージイベント、組合・自治体PRブース、飲食ブース、似顔絵コンテスト作品展、ふわふわ、子どもブース、抽選会、など



嶺南地区 敦賀市「プラザ萬象」大ホール、小ホール、ホワイエ

ステージイベント、キッチンカー、ワークショップ、わくわく抽選会など



福井県立大学経済学部での寄付講座が今年度もスタート!

「ケーススタディで学ぶ仕事の現場」～はたらく側から見た会社選びのために～
日時:2024年4月10日(水)～2024年7月17日(水) 場所:福井県立大学 永平寺キャンパス

4月10日、今年で12年目を迎えた「福井県立大学経済学部 連合福井寄付講座」が開講し、昨年を上回る160名以上の生徒の皆さんが受講しています。全14回の講義を通じて受講生の皆さんの「働く」ということについての学びや気づき、考えるきっかけになればと思います。

連合福井のホームページでは、各講義終了後に内容やその様子をまとめてブログ記事にしていますので、ぜひご覧ください。



第1回
連合福井 矢野会長



第2回
連合福井 橋岡事務局長



第3回
県教組 上埜副委員長



第4回
連合福井 板谷副会長



第5回
福井県労協 城戸相談員

2024 春闘記者会見 ～中間集計を発表～

4月9日(火)、ユニオンプラザ福井において2024春闘の中間集計結果を公表しました。まず始めに矢野会長から、今春闘の情勢や特徴点、現時点で引き出した回答に対する受け止めを述べました。続いて、橋岡事務局長から4月5日時点で集約した内容(回答・妥結結果)についての具体的な報告・考察を説明した後、記者との質疑応答・意見交換を行いました。



会見の様子は、
YouTube【連合福井公式チャンネル】で公開中!



2024春闘中間集計の結果と受け止め (4月5日時点)

組合員一人あたりの平均賃上げ額(加重平均) **15,331円**、
賃上げ率 **5.30%**(内、賃上げ分 **10,148円**、**3.24%**)

- 1991年以降で最も高い水準(連合福井集計) 前年実績との比較では、連合福井結成以来「**最大の上げ幅**」
- 妥結した組合の内、賃上げ(ベア相当分)獲得組合は **9割超**。昨年同期を**1割強上回る!**

新たな経済社会へのステージ転換に向けた大きな一歩として受け止める。
※これまで以上に、企業規模や産業間の水準に開きが出ており、格差の拡大に警戒が必要。

2024 年度改正審議に向けて最賃学習会を開催!

4月8日(月)、講師にUAゼンセンの永井副書記長を迎え、2024年度最賃学習会を開催しました。はじめに、福井地方最低賃金審議会労働側委員を務める玉川副事務局長より、福井県における最低賃金の現状についての報告と、昨年の福井県最低賃金の審議経過や特定最低賃金の必要性審議が難航している課題を共有しました。

続いて、中央最低賃金審議会委員である永井副書記長からは、最低賃金の基礎知識から引き上げの必要性、特定最賃の決定の流れなどについて学びました。さらに、産別としてどのような取り組みを行っているかも紹介していただきました。

最後に閉会にあたり、最賃対策委員会の山田委員長は、「今回の学習会は、改めて最低賃金の意義や役割、そして特定最低賃金の必要性を考える機会となった。」と話しました。依然として物価の上昇に賃金の伸びが追いついていない状況が続いており、非正規雇用や労働組合の無い職場へ波及させる意味でも最低賃金の改正に向けた取り組みを進めていくことを確認する場となりました。



講師を務めた
UAゼンセン
永井副書記長



閉会の挨拶をする
最賃対策委員会
山田委員長